

会議録

起案日：令和6年12月19日

下記のとおり会議録を作成しましたので報告します。

件名	令和6年度 第3回丹波市立文化ホール事業推進会議
日時	令和6年12月18日（水） 19:30 ～ 20:30
場所	春日住民センター 2階研修室
出席者	[委員] 角 悟会長、吉良 哲也副会長、安達 三紀子委員、柴原 希穂委員、 廣瀬 ゆかり委員、中出 靖大委員、吉見 美佳委員 （※欠席：田邊委員、梅谷委員） [外部] 一般社団法人ネクストゼロ 代表理事 長井 誠 [事務局] まちづくり部長 谷水 仁 文化・スポーツ課芸術文化係 係長 見田 晋介 同 主事 瀬頭 史勇
【会議要録】 1 開 会 事務局 ・会議の成立 （事務局） 委員9名中7名の出席により、会議成立（2名会議途中より参加） （欠席委員については、事前連絡あり） ・委員以外の出席 （事務局） ホール運営業務の受託業者である、一般社団法人ネクストゼロの代表理事の出席について報告。 2 委嘱書の交付 各団体及び公募にて決定した委員の中から代表して、事務局より委嘱書を手交 （※ほか、出席委員の委嘱書は机上配布とした） 自己紹介 出席委員7名、団体1名、事務局まちづくり部3名 3 あいさつ 会長、副会長（会長、副会長の選出の後） 4 会長、副会長の選出 会長 （事務局一任の声により、事務局から依頼） 副会長（会長が指名） 5 報告事項 以下、議事進行を会長に依頼 —傍聴者の確認— （事務局） 一般傍聴者ならびに報道機関の申込みなし —会議の公開等の確認— （委員） 丹波市立文化ホール事業推進会議に関する運営要綱第2条より、会議の公開又は全部若しくは	

一部の非公開について諮る。本日の議事においては、個人情報に関するものではなく、丹波市情報公開条例に規定される不開示情報はないため、公開とする。

【委員からの異論なし】

①文化ホール事業推進会議について

(事務局)

—資料により説明—

委員からの意見等なし。

②前回会議録の確認

(事務局)

—資料により説明—

委員からの指摘事項なし。各委員の氏名を伏せた上で HP へ掲載する。

③令和 6 年度事業進捗状況

(事務局)

—資料により説明—

前回からの変更点（赤字）を中心に説明。

委員からの意見等なし。

④ホール運営業務委託に関する進捗状況

(事務局)

—ホール運営について案内パンフレットにより説明—

(外部団体)

—ホールの運営状況・人材育成について説明—

自主事業について、当初は 6 事業の予定であったが、限られた予算の中で 10 事業まで増やして社員 5 人で取り組んでいる。また、オペレータークラブ ZERO-IV とも連携し、丹波市ならではのホール運営の在り方というものも理解して事業を進めている。

人材育成については、毎年 3 月に卒フェス（卒業ライブ）という形で柏原高校ギター部を中心にライブを実施しており、顧問教諭と打ち合わせをする中で、4～5 名は裏方に入ってイベントを盛り上げるという関わり方をするようお願いしている。オペレーター育成講座は、16 期生で 1 名のみの受講となるが、劇団の経験者ということもあり、目に留まったのではないかなと思う。現在、ZERO-IV の会員は 45 名となり、高齢化は進んでいるが、しっかりとした組織として活動している。

受託している業務の中で、広報に関する業務がないということで、担当課と連携を取りながら市の HP などでも広報しているが、タイムリーな広報ができていない現状にある。今後は、委託を受ける中で、積極的な広報ができるように担当課と協議し進めていきたいと考えている。

(委員)

先日、ダンスフェスタに行かせていただいたときに、前年度と比べるとバージョンアップしているように感じた。映像は ZERO-IV のスタッフが作っているのか。

(外部団体)

出演者の演出希望があって、それを ZERO-IV スタッフが作っている。映像は、出演者が準備されているものもあれば、出演者からイメージだけを聞いて 1 から作ってリハーサルで確認したりしている。

(委員)

見学させていただいて、ネクストゼロに委託して良かったと感じる部分であった。今後も引き続きお願いしたい。

6 協議事項（意見交換）

①令和7年度事業計画（案）

（事務局）

—資料により説明—

委員からの意見等なし。

②文化ホール事業に関する意見及び助言について（情報共有/意見交換）

（事務局）

—ピックアップアーティストシリーズについて説明—

（委員）

丹波市小学校連合音楽会では、平成30年に丹波市の歌ができて、昨年から内田校長のもと、連合音楽会で丹波市の歌を歌っている。作詞をされた秋山知美さんが連合音楽会に来られて、とても良い話をしていただいた。

（委員）

春日文化祭で芦田愛菜さんのお祖母さんと話をしていたが、丹波市とつながりのある方なので、観光大使として来ていただけないかなと思っている。芦田愛菜さんに来ていただけたら、若い方も集まって活気づくのではないかなと思う。そういったことも考えてみてほしい。

（委員）

スタッフの人材育成について先ほども話があったが、講座を受けて ZERO-IVに入っても、やめちゃう方もおられるので、担当課がPRしてくれるのは大変ありがたい。裏方スタッフに興味がある方が周りにおられたら、ぜひ広めていただきたい。様々な職種と年齢の方が所属し、活動している団体になるので、今後ともご協力等お願いしたい。

（事務局）

丹波市では、ライフピアいちじま大ホールと春日文化ホールの2館を運営しているが、将来的なスケジュールとして、ライフピアいちじまは令和8年度に大規模改修工事を予定している。また、春日文化ホールは令和10年度頃に大規模改修工事を行う予定としている。大規模改修工事というのは25～30年周期で行うものとなっており、その次の大規模改修工事の時期に将来的なホールの在り方をどうしていくのか、という部分を考えていく必要がある。

現在では、ライフピアいちじま大ホールと春日文化ホールの2館を運営している形となっているが、利便性の高い場所に新たなホールを設置するという計画もある。30年後を見据えて、丹波市の人口がどうなっているか、文化芸術活動がどうなっているかなど、社会情勢が変化している可能性も十分考えられるが、新たに整備することも含めて丹波市の文化芸術を活かしたまちづくりを進めていけるような施設整備を進めていきたいと考えている。

ホール運営については、ネクストゼロに運営業務を委託している。将来的には、令和9年度以降になるが、ライフピアいちじま大ホールと春日文化ホールについては指定管理ということを検討している。どういった業務内容が指定管理業務に該当するのか、ホール以外にも市島と春日には様々な施設があるため、そういった部分も含めた指定管理ということも検討しつつ進めているところである。

（委員）

ホール運営の指定管理については、慎重に話を進めて欲しい。指定管理を導入することで、良い面と悪い面があるが、どちらかという悪い面が目立つことが多い。丹波の森公苑は、丹波の森協会が指定管理で運営を進めているためホールの運営がしやすいが、どこか分からない団体が指定管理をすると大変なことになる。他の施設でも、同様のケースで事務のやりにくさというのを聞いたりしている。そういったことも含めて、指定管理については慎重に進めていただきたい。

（事務局）

丹波市では、文化芸術推進基本計画に沿った形で、「丹波市ならでは」のホール運営を進めていくことが第一となっている。それを満たせない団体にホール運営を委託することは考えていない。通常の指定管理でいうと、商売になるかどうかの判断が第一となり、3～5年の期間で商売にな

らないと判断した場合は手を引かれることもあるが、「丹波市ならでは」のホール運営を進めていくうえで、そういった団体は向いていないと考えているため、指定管理は選択肢の一つとして慎重に進めていきたいと考えている。

7 その他

①次回開催予定

(事務局)

令和6年度第4回ホール事業推進会議 令和7年3月中旬頃予定

8 閉 会 副会長